ROCK PAINT

エコマルチ 反応促進剤

環境配慮型 2液ウレタン樹脂塗料用硬化反応促進剤

商品概要・用途

エコマルチ 反応促進剤は、冬期低温時など塗料の乾燥時間を短縮したい場合に指定の配合可能塗料に対して規定量配合することにより、塗料の反応硬化速度を速めることが可能な環境配慮型の添加剤です。
可使時間が短くなるなど使用に際しての制限があるため、注意事項に留意して使用してください。

品目コード（品番・缶種）・品名・容量 / 商品外観

051-0102-69　エコマルチ 反応促進剤　300ml

特長

・特定化学物質障害予防規則（特化則）に対応、PRTR届出不要の環境配慮型添加剤です。（2024年6月現在）
・塗料の反応硬化時間を速めることが可能なため、冬期低温時や生産性向上を目的とした乾燥時間の短縮に寄与します。
・添加量により、硬化時間の調整が可能です。
・配合した塗料の可使時間が短くなります。

配合可能塗料

- 073-5***　ハイロックECO　1CS（1コートソリッドカラー）
- 073-5150　ハイロックECO　クリヤー
- 073-5160　ハイロックECO　グロストップ クリヤー
- 073-3***　ハイロックECO　DUAL
- 073-1***　ハイロックECO　Type R
- 088-****　パナロック　1CS（1コートソリッドカラー）
- 149-6***　エコロック ハイパークリヤー 各種
- 149-5145　エコロック ユーティリティークリヤー M

注意事項

- 本書記載の配合可能塗料の主剤にのみ添加し、添加率の上限値を超えない範囲で配合して使用してください。
- 塗膜性能低下の原因となるため、配合可能塗料以外への使用はできません。
- 硬化剤には絶対に添加しないでください。硬化剤にエコマルチ 反応促進剤を添加して混合すると、自己反応硬化を起こして硬化剤単独で硬化し使用できなくなります。

保管条件 / 貯蔵安定期間

5～40℃　3年間 （未開封時）

保護具/安全衛生

・適切な安全保護具を着装してください。
・詳細は安全データシート(SDS)を参照してください。

使用方法

エコマルチ 反応促進剤は主剤に対して添加することにより、塗料の反応硬化時間を早くするための添加剤です。

・エコマルチ 反応促進剤は、塗装する直前に配合可能塗料の主剤100に対し、本TDSに記載の添加率の範囲内で配合します。その後十分に撹拌してから、主剤専用の硬化剤と希釈シンナーを配合し、塗装してください。
　※ エコマルチ 反応促進剤の添加率は、上限値まで段階的に増やして調整することを推奨します。
・配合は重量比です。
・本商品は配合可能塗料により、添加率上限や使用可能な気温条件が異なります。
　本書記載の各配合可能塗料の注意事項に留意してください。
・メタリック/パールカラーにはエコマルチ 反応促進剤を使用しないでください。トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。
・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。
　必ず塗装する直前に主剤に添加してください。
・使用後は注ぎ口のまわりをよく拭き取り、速やかに密栓し冷暗所にて保管してください。
・塗料の硬化・蒸発速度の調整は気温に応じた硬化剤・シンナーを選定した上で、本商品を併用してください。

配合可能塗料 主剤 100			051-0102 添加率	本TDSでの参照頁
073-3***	ハイロックECO　DUAL		0.5～1.0% ※1	P3
073-5***	ハイロックECO　1CS(1コートソリッドカラー)		0.5～2.0% ※1	P4
073-5150	ハイロックECO　クリヤー			P5
073-1***	ハイロックECO　Type R			P6
073-5160	ハイロックECO　グロストップ クリヤー		0.5～3.0% ※1	P7
088-****	パナロック　1CS(1コートソリッドカラー)		1.0～3.0% ※1	P8
149-6145	エコロック　ハイパークリヤー	H		P9
149-6150		S		
149-6245		SW		
149-6250		LW		
149-5145	エコロック　ユーティリティクリヤー M			P10

100 ※1 ＋ 100 ※2 ＋ 100 ※3

配合可能塗料　主剤　各種
051-0102　エコマルチ 反応促進剤
配合可能塗料　硬化剤　各種
配合可能塗料　希釈シンナー　各種

※1 上記、051-0102　エコマルチ 反応促進剤の添加率を参照してください。
※2 硬化剤の配合率は、各主剤のTDSを参照してください。
※3 標準希釈率は、各主剤のTDSを参照してください。

エコマルチ 反応促進剤

073-3***　ハイロックECO　DUAL

- 051-0102　エコマルチ 反応促進剤の添加量は主剤に対して0.5～1.0%の範囲で添加します。
- 気温30℃以上での添加は不可となります。
- 1.0%を超える添加や30℃を超える環境下での添加は、極端な可使時間の短縮や層間剥離、仕上り外観品質の低下などの原因となります。
- 添加に際しては、少量の配合から段階的に増やして調整することを推奨します。
- 主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

100				073-3***　ハイロックECO　DUAL
0.5-1.0	100		100	051-0102　エコマルチ 反応促進剤
	16.6			073-5110　ハイロックECO　硬化剤
		10-30		016-F77*　エコマルチシンナー　各種

※ 反応促進剤を使用する際の硬化剤には、073-5105 ハイロックECO 硬化剤（速乾型）は使用できません。塗膜性能低下の原因となります。
※ 反応促進剤を使用する際の硬化剤には、073-5110 ハイロックECO 硬化剤の配合が効果的です。
※ シンナー種、希釈率は参考にしてください。

051-0102 エコマルチ 反応促進剤を添加した際の各反応時間の目安
※ 主剤：073-3204 ハイロックECO DUAL ホワイト 使用
※ 乾燥条件（膜厚50μm / 希釈率20%）
※ 塗装条件（膜厚、希釈含む）により、各反応時間は変動します。

■ 073-5110 ハイロックECO 硬化剤　使用時　【H=時間】

項目	10℃			20℃		
051-0102 添加率	0%	0.5%	1.0%	0%	0.5%	1.0%
可使時間	8H	6H	4H	4H	2.5H	2H
指触乾燥	15分			10分		
中研ぎ可能						
テーピング可能	18H	14H	12H	6H	5H	4H
屋外放置可能	24H	22H	20H	16H	14H	12H
耐ガソリン性	36H	32H	30H	24H	22H	20H

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

073-5*** ハイロックECO 1CS（1コートソリッドカラー）

- 051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加量は主剤に対して0.5～2.0%の範囲で添加します。
- 気温30℃以上での添加は不可となります。
- 2.0%を超える添加や30℃を超える環境下での添加は、極端な可使時間の短縮や層間剥離、仕上り外観品質の低下などの原因となります。
- 添加に際しては、少量の配合から段階的に増やして調整することを推奨します。
- 主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。
- メタリック/パールカラーベースにはエコマルチ 反応促進剤を使用しないでください。トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。

100
0.5-2.0 } 100 } 100　073-5*** ハイロックECO 1CS（1コートソリッドカラー）主剤
25　051-0102 エコマルチ 反応促進剤
40　073-5110 / 5105 ハイロックECO 硬化剤 / 硬化剤（速乾型）
016-F77* エコマルチシンナー 各種

※ メタリック/パールカラーベースには使用しないでください。
※ シンナー種、希釈率は参考にしてください。

051-0102 エコマルチ 反応促進剤を添加した際の各反応時間の目安
※ 主剤：073-5204 ハイロックECO ホワイト 使用
※ 乾燥条件（膜厚50μm / 希釈率40%）
※ 塗装条件（膜厚、希釈含む）により、各反応時間は変動します。

■ 073-5110 ハイロックECO 硬化剤 使用時　【H=時間】

項目	10℃				20℃				30℃	60℃
051-0102 添加率	0%	0.5%	1.0%	2.0%	0%	0.5%	1.0%	2.0%	-	-
可使時間	7H	4H	3H	2H	5H	3H	2H	1.5H	3H	
指触乾燥 / 中研ぎ可能	15分	12分		10分	10分	8分	7分	6分	7分	
コンパウンド可能	8H	6H	5H	4H	4H	3H	2.5H	1.5H	2H	20分
テーピング可能	16H	10H	8H	6H	6H	4H	3.5H	2.5H	4H	
屋外放置可能	24H	20H	18H	16H	16H	12H	10H	8H	12H	30分
耐ガソリン性	36H	32H	28H	24H	24H	20H	16H	12H	20H	40分

■ 073-5105 ハイロックECO 硬化剤（速乾型） 使用時　【H=時間】

項目	10℃				20℃			
051-0102 添加率	0%	0.5%	1.0%	2.0%	0%	0.5%	1.0%	2.0%
可使時間	5H	3H	2H	1.5H	4H	2.5H	1.5H	1H
指触乾燥 / 中研ぎ可能	10分	9分	9分	8分	5分	5分	4分	4分
コンパウンド可能	7H	5.5H	4.5H	4H	4H	2.5H	2H	1.5H
テーピング可能	14H	9H	7H	5.5H	5.5H	3.5H	3H	2H
屋外放置可能	22H	19H	17H	16H	16H	10H	9H	8H
耐ガソリン性	34H	30H	26H	24H	24H	16H	14H	10H

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

073-5150　ハイロックECO クリヤー

・051-0102　エコマルチ 反応促進剤の添加量は主剤に対して0.5～2.0%の範囲で添加します。
・気温30℃以上での添加は不可となります。
・2.0%を超える添加や30℃を超える環境下での添加は、極端な可使時間の短縮や層間剥離、仕上り外観品質の低下などの原因となります。
・添加に際しては、少量の配合から段階的に増やして調整することを推奨します。
・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

100	100	100	073-5150 ハイロックECO クリヤー　主剤
0.5-2.0			051-0102　エコマルチ 反応促進剤
	25		073-5110 / 5105　ハイロックECO　硬化剤 / 硬化剤(速乾型)
		25	016-F77*　エコマルチシンナー　各種

※ シンナー種、希釈率は参考にしてください。

051-0102 エコマルチ 反応促進剤を添加した際の各反応時間の目安
※ 主剤:073-5150 ハイロックECO クリヤー 使用
※ 乾燥条件(膜厚40μm / 希釈率25%)
※ 塗装条件(膜厚、希釈含む)により、各反応時間は変動します。

■ 073-5110 ハイロックECO 硬化剤　使用時　【H=時間】

項目	10℃				20℃				30℃	60℃
051-0102 添加率	0%	0.5%	1.0%	2.0%	0%	0.5%	1.0%	2.0%	-	-
可使時間	8H	5H	4H	3H	6H	4H	3H	2H	4H	
指触乾燥 中研ぎ可能	20分	18分	15分		12分	10分	8分		10分	
コンパウンド可能	20H	10H	6H	4H	10H	6H	3H	2H	4H	25分
テーピング可能	24H	12H	8H	7H	12H	8H	4H	3H	5H	30分
屋外放置可能	24H	20H	18H	16H	16H	12H	10H	8H	12H	40分
耐ガソリン性	36H	32H	28H	24H	24H	20H	16H	12H	20H	60分

■ 073-5105 ハイロックECO 硬化剤(速乾型)　使用時　【H=時間】

項目	10℃				20℃			
051-0102 添加率	0%	0.5%	1.0%	2.0%	0%	0.5%	1.0%	2.0%
可使時間	6H	3.5H	2.5H	2H	5H	3H	2H	1.5H
指触乾燥 中研ぎ可能	12分	12分	10分	10分	7分	7分	6分	6分
コンパウンド可能	18H	8H	5H	4H	8H	4H	2.5H	1.5H
テーピング可能	22H	10H	7.5H	6.5H	10H	6H	3.5H	2.5H
屋外放置可能	22H	19H	17H	16H	16H	10H	9H	8H
耐ガソリン性	34H	30H	26H	24H	24H	16H	14H	10H

エコマルチ 反応促進剤　For Professional Use Only

073-1***　ハイロックECO　Type R

・051-0102　エコマルチ 反応促進剤の添加量は主剤に対して0.5～2.0%の範囲で添加します。
・気温30℃以上での添加は不可となります。
・2.0%を超える添加や30℃を超える環境下での添加は、極端な可使時間の短縮や層間剥離、仕上り外観品質の低下などの原因となります。
・添加に際しては、少量の配合から段階的に増やして調整することを推奨します。
・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

100
0.5-2.0
100
12.5
100
30-50

073-1*** ハイロックECO Type R
051-0102　エコマルチ 反応促進剤
073-5110 / 5105　ハイロックECO　硬化剤 / 硬化剤(速乾型)
016-F77*　エコマルチシンナー　各種

※ シンナー種、希釈率は参考にしてください。

051-0102 エコマルチ 反応促進剤を添加した際の各反応時間の目安
※ 主剤:073-1204 ハイロックECO Type R ホワイト 使用
※ 乾燥条件(膜厚50μm / 希釈率40%)
※ 塗装条件(膜厚、希釈含む)により、各反応時間は変動します。

■ 073-5110 ハイロックECO 硬化剤　使用時　【H=時間】

項目	10℃				20℃				30℃	60℃
051-0102 添加率	0%	0.5%	1.0%	2.0%	0%	0.5%	1.0%	2.0%	-	
可使時間	8H	6H	5H	4H	6H	5H	3H	2H	3H	-
指触乾燥	5分				4分				3分	
中研ぎ可能	10分				8分				6分	
コンパウンド可能	7H	4H	3H	2H	3H	2.5H	1.5H	30分	1H	15分
テーピング可能	15H	10H	9H	5H	6H	4H	3H	1.5H	3.5H	20分
屋外放置可能	24H	20H	18H	16H	16H	12H	10H	8H	12H	30分
耐ガソリン性	36H	32H	28H	24H	24H	20H	16H	12H	20H	40分

■ 073-5105 ハイロックECO 硬化剤(速乾型)　使用時　【H=時間】

項目	10℃			
051-0102 添加率	0%	0.5%	1.0%	2.0%
可使時間	7H	5H	4.5H	3H
指触乾燥	4分			
中研ぎ可能	9分			
コンパウンド可能	6H	4H	3H	2H
テーピング可能	14H	9H	7H	5H
屋外放置可能	22H	19H	17H	16H
耐ガソリン性	34H	30H	26H	24H

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

073-5160 ハイロックECO グロストップ クリヤー

- 051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加量は主剤に対して0.5～3.0%の範囲で添加します。
- 気温30℃以上での添加は不可となります。
- 3.0%を超える添加や30℃を超える環境下での添加は、極端な可使時間の短縮や層間剥離、仕上り外観品質の低下などの原因となります。
- 添加に際しては、少量の配合から段階的に増やして調整することを推奨します。
- 主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

100
0.5-3.0　100　100
25

073-5160 ハイロックECO グロストップ クリヤー　主剤
051-0102 エコマルチ 反応促進剤
073-5110 / 5105　ハイロックECO　硬化剤 / 硬化剤(速乾型)
5　016-F77*　エコマルチシンナー　各種

※ シンナー種、希釈率は参考にしてください。

051-0102 エコマルチ 反応促進剤を添加した際の各反応時間の目安
※ 主剤:073-5160 ハイロックECO グロストップ クリヤー 使用
※ 乾燥条件(膜厚40μm / 希釈率5%)
※ 塗装条件(膜厚、希釈含む)により、各反応時間は変動します。

■ 073-5110 ハイロックECO 硬化剤　使用時　【H=時間】

項目	10℃					20℃					30℃	60℃
051-0102 添加率	0%	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%	-	
可使時間	8H	7.5H	7H	6H	5H	6H	5.5H	5H	4H	3H	4H	-
指触乾燥 中研ぎ可能	16分		14分			10分		9分		8分	8分	
コンパウンド可能	20H	18H	16H	14H	12H	7H	6.5H	6H	5H	4H	3H	20分
テーピング可能	24H	22H	20H	17H	15H	9H	8.5H	8H	7H	6H	4.5H	30分
屋外放置可能	28H	26H	24H	22H	20H	12H	11H	10H	9H	8H	8H	35分
耐ガソリン性	36H	34H	32H	28H	24H	15H	14H	13H	12H	11H	10H	45分

■ 073-5105 ハイロックECO 硬化剤(速乾型)　使用時　【H=時間】

項目	10℃					20℃				
051-0102 添加率	0%	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%
可使時間	6H	5.5H	5H	4H	3H	4.5H	4H	3.5H	3H	2.5H
指触乾燥 中研ぎ可能	10分		8分			6分		5分		
コンパウンド可能	18H	16H	14H	12H	10H	5H	4.5H	4H	3H	2H
テーピング可能	22H	20H	18H	16H	14H	7H	6.5H	6H	5H	4H
屋外放置可能	25H	23H	21H	19H	17H	10H	9H	8H	7H	6H
耐ガソリン性	34H	32H	30H	27H	24H	14H	13H	12H	11H	10H

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

088-**** パナロック 1CS(1コートソリッドカラー)

・051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加量は主剤に対して1.0～3.0%の範囲で添加します。
・気温30℃以上での添加は不可となります。
・3.0%を超える添加や30℃を超える環境下での添加は、極端な可使時間の短縮や層間剥離、仕上り外観品質の低下などの原因となります。
・添加に際しては、少量の配合から段階的に増やして調整することを推奨します。
・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。
・メタリック/パールカラーベースにはエコマルチ 反応促進剤を使用しないでください。トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。

100	100	100	088-**** パナロック 1CS(1コートソリッドカラー) 主剤
1.0-3.0			051-0102 エコマルチ 反応促進剤
	10		088-0110 パナロック 硬化剤
		50	016-F77* エコマルチシンナー 各種

※ メタリック/パールカラーベースには使用しないでください。
※ シンナー種、希釈率は参考にしてください。

051-0102 エコマルチ 反応促進剤を添加した際の各反応時間の目安
※ 主剤:088-0204 パナロック ホワイト 使用
※ 乾燥条件(膜厚60μm / 希釈率50%)
※ 塗装条件(膜厚、希釈含む)により、各反応時間は変動します。

■088-0110 パナロック 硬化剤 使用時　【H=時間】

項目	10℃				20℃				25℃			
051-0102 添加率	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	1.0%	2.0%	3.0%
可使時間	8H	6H	4H	3H	5H	3H	2H	1.5H	3H	2H	1.5H	1H
指触乾燥	8分	6分	5.5分	5分	4分	4分	3.5分	3分	3分	3分	2.5分	2分
中研ぎ可能	40分	25分	20分	15分	20分	16分	12分	8分	15分	10分	8分	6分
コンパウンド可能	6H	4H	3H	2H	3H	2.5H	2H	1.5H	2H	1.5H	1.5H	1H
テーピング可能	20H	14H	10H	7H	12H	8H	6H	5H	6H	5H	4H	3H

参考 / 使用硬化剤別 硬化時間比較(反応促進剤添加なし)

■硬化剤 088-0110 パナロック硬化剤 / 088-0140 パナロック硬化剤 速乾型　【H=時間】

項目	10℃		20℃		25℃	
硬化剤	088-0110 パナロック 硬化剤	088-0140 パナロック 硬化剤 速乾型	088-0110 パナロック 硬化剤	088-0140 パナロック 硬化剤 速乾型	088-0110 パナロック 硬化剤	088-0140 パナロック 硬化剤 速乾型
可使時間	8H		5H		3H	
指触乾燥	8分	7分	4分		3分	
中研ぎ可能	40分	30分	20分	18分	15分	12分
コンパウンド可能	6H		3H		2H	
テーピング可能	20H	16H	12H	10H	6H	5H

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

149-6*** エコロック ハイパークリヤー 各種 [H、S、SW、LW]

- 051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加量は主剤に対して1.0～3.0%の範囲で添加します。
- 気温30℃以上での添加は不可となります。
- 3.0%を超える添加や30℃を超える環境下での添加は、極端な可使時間の短縮や層間剥離、仕上り外観品質の低下などの原因となります。
- 添加に際しては、少量の配合から段階的に増やして調整することを推奨します。
- 主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

100
1.0-3.0 } 100 } 100
33.3

149-6*** エコロック ハイパークリヤー各種 主剤
051-0102 エコマルチ 反応促進剤
149-61** エコロック ハードナー 各種
25　016-F77* エコマルチシンナー 各種

※ シンナー種、希釈率は参考にしてください。

051-0102 エコマルチ 反応促進剤を添加した際の各反応時間の目安
※ 硬化剤:149-6120 エコロック ハードナー(標準型) 使用
※ 乾燥条件(膜厚50μm / 希釈率25%)
※ 塗装条件(膜厚、希釈含む)により、各反応時間は変動します。

■ 149-6150 エコロック ハイパークリヤー S 使用時　【H=時間】

項目	10℃				20℃				25℃				60℃	
051-0102 添加率	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	3.0%
可使時間	180分	160分	140分	120分	120分	100分	80分	60分	－				－	
コンパウンド可能時間	15H	13H	12H	11H	6H	5H	4H	3H	5.5H	4.5H	3.5H	2.5H	15分	12分
テーピング可能時間	31H	26H	23H	20H	13H	11H	10H	9H	12H	10H	9H	8H	25分	22分

■ 149-6145 / 6245 / 6250 エコロック ハイパークリヤー H / SW / LW 使用時　【H=時間】

項目	10℃				20℃				25℃				60℃	
051-0102 添加率	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	3.0%
可使時間	180分	160分	140分	120分	120分	100分	80分	60分	－				－	
コンパウンド可能時間	11H	9H	8H	7H	3H	2.5H	2H	1.5H	2.5H	2H	1.5H	1.3H	10分	7分
テーピング可能時間	27H	22H	19H	16H	11H	9H	8H	7H	10H	8H	7H	6H	20分	17分

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

149L エコロック ユーティリティクリヤー M

・051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加量は主剤に対して1.0～3.0%の範囲で添加します。
・気温30℃以上での添加は不可となります。
・3.0%を超える添加や30℃を超える環境下での添加は、極端な可使時間の短縮や層間剥離、仕上り外観品質の低下などの原因となります。
・添加に際しては、少量の配合から段階的に増やして調整することを推奨します。
・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

100	100	100	149-5145 エコロック ユーティリティークリヤー M 主剤
1.0-3.0			051-0102 エコマルチ 反応促進剤
	20		149-61** エコロック ハードナー 各種
		5	016-F77* エコマルチシンナー 各種

※ シンナー種、希釈率は参考にしてください。

051-0102 エコマルチ 反応促進剤を添加した際の各反応時間の目安
※ 硬化剤：149-6120 エコロック ハードナー(標準型) 使用
※ 乾燥条件（膜厚50μm / 希釈率5%）
※ 塗装条件（膜厚、希釈含む）により、各反応時間は変動します。

【H=時間】

項目	10℃				20℃				25℃				60℃	
051-0102 添加率	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	1.0%	2.0%	3.0%	0%	3.0%
可使時間	300分	260分	220分	180分	240分	200分	160分	120分	－				－	
コンパウンド可能時間	12H	10H	9H	8H	4H	3H	2.5H	2H	3.5H	2.5H	2H	1.5H	15分	12分
テーピング可能時間	28H	23H	20H	17H	12H	10H	9H	8H	11H	9H	8H	7H	25分	22分

■Copyright ⓒ 2024 ROCK PAINT CO.,LTD. All Rights Reserved.
本データシートの内容については予告なく変更する場合があります。また著作権などの法律で保護されており、無断で転載、複製することを固く禁止します。
本データシートは参考資料としての位置付けにて、特定の品質や使用に関する適正または塗装の結果を保証するものではありません。
実際の塗装等作業には、環境面をはじめ種々のファクターが介在致します。事前に試験塗装を行い確認を実施いただきますようお願い致します。
本データシートを使用して生じたいかなる塗装結果及び損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。